

豊四季台地域の長寿社会のまちづくり（柏市）

課題（状況）



- ・2030年には人口が減少、高齢化率も32%に達し、後期高齢者も著増するなか、医療資源が少なく、高齢者医療をどのように構築するかが課題
- ・退職する団塊世代等が地域で孤立しないよう地域参加の道筋を示す必要

目標（数値）



- いつまでも在宅で安心した生活が送れるまち・元気で活躍できるまちの実現
- ・かかりつけ医が在宅医療に取組めるモデルの実現/サービス付き高齢者住宅と24時間在宅ケアシステムの組合せの実現
- ・高齢者が地域で就労するシステム構築

具体的取組

- ①・在宅医療推進のための仕組の描出・取組ー主治医・副主治医制による訪問診療構築/病院のバックアップ体制確保/・医療と介護に関する多職種連携/在宅医療研修の実施/情報共有システムの構築/地域医療拠点整備
- ・豊四季団地内での高齢者向け住宅整備と医療介護サービス施設の併設
- ・高齢者の生きがい就労の創成ー育児等地域課題解決に繋がる分野の就労の仕組づくり
- ③地域医療拠点整備ー市がURより土地を賃貸、医師会はその土地に建物を建設・寄付
- ⑥・医療から高齢者就労まで事業横断の担当部署の設置
- ・医師会、在宅ケア団体、高齢者就労等関係事業者の協力関係の確立
- ・多職種の協働のための共通のルール確立

・指定介護予防訪問リハビリテーションは病院、診療所、介護老人保健施設のみが提供可能（診療所が少ないため、提供事業所も少ない）

規制・環境変化

総合特区を活用、診療所等の医療機関の指導のもと訪問リハビリ事業所に訪問リハビリ事業を実施可能とした

解決

柏市プロジェクト

- ①プログラム（行動）
- ②スケジュール
- ③予算
- ④専門人材
- ⑤推進・運用組織
- ⑥成功要件

地域資源
人材

支援政策
協力者

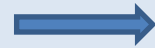
産学連携
技術

多職種連携（3師会、訪問看護ステーション、栄養士会等）

東大IOG、シルバー人材センター

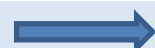
・東大高齢社会総合研究機構、（独）都市再生機構、柏市（3者が豊四季台地域高齢社会総合研究会を発足、研究を重ね、三者協定を締結、在宅医療、高齢者生きがい就労の実証事業に取り組む）

成果（数値）



- ・市による在宅医療推進体制の整備とこれによる病院・診療所の役割分担の明確化・確立
- ・訪問リハビリを医師指導のもと訪問リハビリ事業所が提供できることで寝たきり防止等健康な生活に繋がる（総合特区制度による）
- ・従事者が不足していた農業、生活支援、育児・保育、福祉分野での高齢者の生きがい就労の創出とこれによる健康の維持・介護予防

地域の変化



- ・在宅医療を始め医療・介護に係る相談が相当入るなど関心の高まり
- ・生きがい就労における新たな職場での同僚や関係者とのコミュニティの生成
- ・地域の取組みへの住民参加気運の高まり

残る課題



- ・行政・医師等の専門職が協力して市民を啓発することによる在宅医療の理解と推進
- ・高齢者の生きがい就労では①事業者にとっての採算性を確保、事業モデルを確立 ②地域の同業他社への啓発を行い、雇用の場及び高齢者就労を拡大

次の行動



- ・行政・医師会の連携することで関係団体も含めた強力な推進体制を構築
- ・高齢者就労に長けたシルバー人材センターとの連携により高齢者の多様な働き方を実現、高齢者の就労を希望する事業者の募集